

平成26年度

緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が開催されました

平成26年10月22日（水）、23日（木）の二日間、青森県弘前市を会場に平成26年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練が開催されました。

北海道・東北8道県の消防機関、自衛隊・警察等の防災関係機関および医療機関・DMAT等、総勢266隊1,023名が集結し、各機関連携による実践的訓練を実施しました。当消防本部からは救急隊1隊3名、後方支援隊1隊4名の計7名の隊員が派遣され、一日目の夜間訓練では多重衝突事故救出訓練、二日目は多数傷病者救出訓練を実施しました。

北海道・東北地区消防本部が一同に集結しての合同訓練であり、夜間はテントを張っての野営泊を行い、両日の訓練は、各機関との連携を再確認できた有効な訓練となりました。

※ 緊急消防援助隊は、平成7年阪神淡路大震災の教訓を踏まえて平成7年6月に創設され、以降、車両・資機材などの整備を進め、4,694隊（平成26年4月1日現在）が登録されています。

今年8月の広島県広島市での土砂災害、9月には長野県御嶽山噴火災害にも緊急消防援助隊が派遣され活動を行っています。

久慈消防本部は消火隊2隊、救急隊2隊、後方支援隊の5隊が登録されております。



【写真1】岩手県大隊集結



【写真2】夜間訓練で活動する久慈消防署救急隊



【写真3】総務省消防庁激励巡視



【写真4】二日目、久慈消防署救急隊の訓練風景